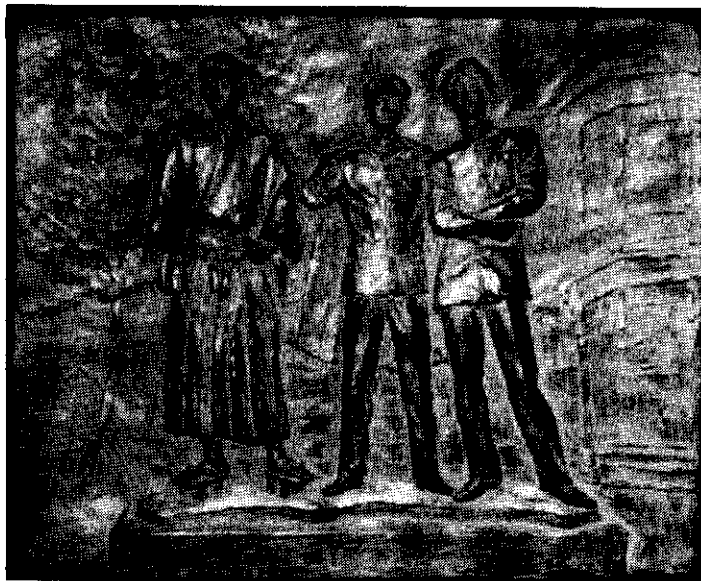


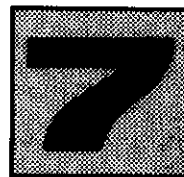
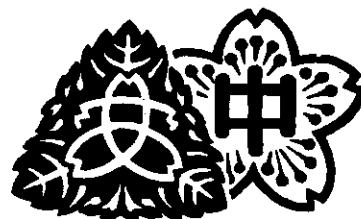
■安積中学校■安積高等学校在京同窓生

東京桑野会会報

●昭和61年4月 1日発行 ●発行・編集人 澤田 悌 ●発行所 東京桑野会事務局 〒101東京都千代田区内神田2-10-2 不動前ビル5F



「安積健児」の像レリーフ



- ① 桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓生の親睦の会であること
- ② 会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③ 何んらかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

昭和61年度総会を迎えるに当たって



東京桑野会会長 澤田 悌

来たる4月14日には、東京桑野会の定例会員総会が開催されます。多数の会員の方々にご出席いただき、同窓生の懇親を一層深め楽しい一夕を過ごしたいものと存じます。

本年は母校創立102年目を迎えるわけですが、昨年の会員総会のご挨拶でも申しました通り、東京桑野会としてはあの記念行事で盛り上がった気分を定着させ、会の一層の充実と発展を図りたいと思う次第であります。

そのためにも、各卒業年次毎に幹事を選んで在京同年次の方々への連絡を密にいただき、若い世

代の同窓生が続々と入会されるよう工夫をこらす必要があると思っておりましたが、この度別掲の通り幹事陣が整ったことは喜ばしい限りであります。これにより東京桑野会が一段と盛り上がり、会のモットーである”桑野の母校で学んだという共通の経験に結ばれた同窓生の東京における親睦の会”が更に力強く意義あるものとなることが期待されます。

会員総会には多数の皆さんがお元気にご参集下さいますことをお待ちしておりますと共に皆さんの一層のご健勝をお祈りして、会報第7号の巻頭のご挨拶といたします。

東京桑野会定期総会 開催のお知らせ

下記により恒例の東京桑野会定期総会を開催致します。ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

- 期日 昭和61年4月14日(月)
- 時間 午後5時—受付開始
午後6時—総会
午後6時半—懇親会
- 議題 1、予算決算の件
2、事業報告の件
3、幹事委嘱の件
4、その他
- 場所 目白椿山荘
文京区関口2-10-8 (Tel 03-943-1111)
国電目白駅、地下鉄有楽町線江戸川橋下車
- 会費 懇親会費 7000円
61年度会費2000円
(ただし学生会員については、年会費を含み4000円とします)
- その他
 - ・尚、準備の都合もありますので、ご出欠のお返事を同封の葉書で、折り返し3月末日までに返送下さいますようお願い申し上げます。
 - また、連絡もれもあるかと思われますので、恩師縁故者もお誘い合わせの上、多数のご出席をお願い申し上げます。
 - ・東京桑野会名簿は残部があります。ご希望の方は一部500円でお頒けします。
 - ・万一ご欠席の方は、年会費2000円を同封の振込

用紙にて、お振込願います。会の運営のために必要ですので宜しくお願いします。

- ・60年度は昨年4月15日に開催され、200名を超える参加者がありました。年ごとに盛会になりつつあります。前回は上回る参加を期待します。

(東京桑野会事務局)

～母校便り～剣道部—史上初、四連覇!

安積高校新聞、昭和60年 2/28号 1/24号より

* 剣道部、第四回県高校選抜剣道優勝大会が昭和60年2月10日安高新体育館で行なわれ、男女合わせて24チームが参加し熱戦が繰り広げられた。その結果、男子の部では見事安積高校が優勝し、四連覇を成し遂げた。また個人の部では吉田賢一君が優勝し二重の喜びとなった。

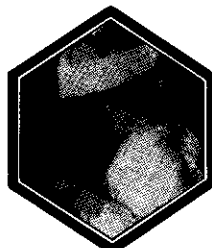
* バスケットボール部 県高校新人バスケットボール大会が昭和59年12月21・22・23日の3日間に宣っていわき市内で行なわれ、参加16チームのうち母校バスケット部が優勝した。この大会での優勝は3年ぶり5度目である。また昭和60年2月2・3日の秋田市での東北大会では、体調を崩していた者が多く、決勝トーナメント進出はならなかった。

* 合唱部 合唱コンクール福島県大会で優秀な成績を修めた合唱部は、昭和60年10月19日秋田で行なわれた水準の高い東北大会に出場し、金賞を受賞した。また、11月創部以来初めて全国大会に出場した。

* 高校野球夏の甲子園大会県予選結果
1回戦 安積10-1聖光学院 7回 コールド
2回戦 安積2-5学法石川

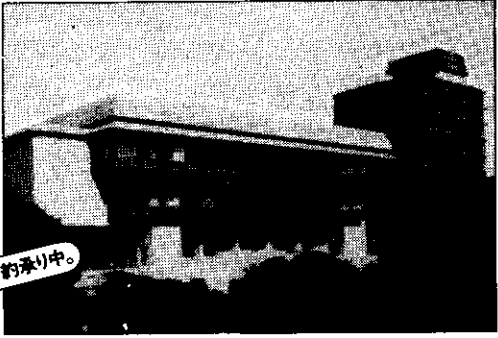
渉外担当支配人
竹花則栄(55期卒)

CHINZAN SO
椿山荘
東京都文京区関口2-10-8
TEL 03(943)1111
藤田観光



大小23のご披露宴会場。
800名様までの日本料理・フランス料理着席ご披露宴。
庭園での記念写真も随時お撮りいただけます。
チャペルでの挙式もできます。
最新機能の音響・照明設備。

華やかな「宴」のとき。



只今、ご婚礼・ご宴会ご予約承り中。

49会同期会に思う

49期 小谷 寛

私共は昭和7年旧制安積中学校に入學いたしました。経済不況が長く続いた時代で、毎年200名の入学定員が、私共の年度に限って150名に削られました。私共が小学校6年の時に満州事変が起こり、日本は軍国主義の道を選び、日華事変、太平洋戦争と泥沼戦争に突き進んだこととなります。脚にゲートル、ランドセル姿で通学したことを思い出します。先生や上級生に対しては拳手の敬礼を行うことを決められていたことも思い出します。今の時代の考えでは行き過ぎの感もありますが、この様な環境の中で、「質実剛健」の気風が育った様に思います。

私共は勿論戦争の体験を持っております。現在日本は世界の経済大国として、豊かな時代を迎えましたが、戦後の高度経済成長時代にあっても、終戦後の物のない、貧しさの中で耐えぬいた意識のほうが強かった様に思えます。何れにしても私共は、戦争をはさんで、戦前、戦中、戦後と三つの時代を経験し、とにかく頑張って生きぬいて来ただけに、本当に気心の知った仲間であります。

戦死者20名に初まり、その後他界した人も漸次増えてまいり、現在では生存者は95名になってしまいました。

郡山を中心に福島県地区が58名、東京を中心に関東地区が25名、北海道1名を加えて、仙台を中心とした東北地区が12名と、三つの地区に分けられ、各ブロック毎に新年会、忘年会等の親睦会を続けております。

合同の総会は昭和44年10月郡山市で行なわれ36名の参加がありました。しかし安積100年祭をはさんで、合同の総会を毎年の様に行なう様になりました。

昭和55年2月には郡山市の幹事が中心となって奥磐梯の観光を兼ねて、磐梯熱海温泉で総会が行なわれ、36名の出席がありました。

昭和57年6月には、仙台の幹事が中心となって、宮城県秋保温泉にて総会が行なわれ、この時には32名の出席がありました。

昭和58年3月には東京の幹事が中心となって、大洗海岸、西山荘観光と、水戸偕楽園観梅を主とした総会を行ない、30名の出席がありました。

昭和59年9月には、安積100年祭に先立って、前夜祭を兼ねた総会が行なわれ、郡山の幹事が中心となって磐梯熱海温泉で実施されましたが、実に46名の出席を見ました。安積100年祭に関連して、福島放送のテレビ収録が行なわれ、校歌や応援歌を繰り返しリハーサルされたことも手伝って、すっかり童心にかえり、歌を合唱し、感激に浸りました。翌日準備されたバスに乗り込み、母校の記念式典会場に直行し、

式に参列いたしました。森文部大臣、松平福島県知事の出席もあり、式は盛大厳粛に行なわれたことは、私共の記憶に新たなるところであります。

昭和60年9月には仙台の幹事が中心となって宮城県作並温泉にて総会が行なわれ、32名の出席がありました。総会の翌日、ニッカウスキー仙台工場を見学して、仙台駅で別れた次第ですが、この工場の責任者である鈴木昌寿氏が夜分私共の旅館に訪ねて来られました。同氏は昭和26年卒業（高校3期、64期）に当たられるとのことで、所用のため私共を直接案内出来ないために、挨拶に来られた次第ですが、私共の夜の懇親会に参加され、校歌、応援歌を合唱いたしました。同窓のよしみで、私共の工場見学も歓迎を受け、同期会を大変有意義なものにしたことを付記いたしておきます。

昭和62年度は私共の卒業50年に当り、郡山で総会が行なわれることに決定しており、昭和61年は東京の幹事が中心となって、総会を開催することになり、「紫の旗」が仙台の幹事によりバトンタッチされております。具体的にはまだ決定されておませんが、開催の期日は9月上旬を予定しております。



安全日本一をめざす

石打丸山

スキー場

株式会社日本リフト・サービス

東京事務所：東京都中央区銀座7-5-12

取締役会長 後藤 憲平（第25期）

（スキー場案内専用03-571-5444）



彫塑芸術の観方

50期 佐藤 義重

この場をお借りして東京桑野会の皆様へ彫塑芸術観賞にはこの様な心構えでと云うことを一寸述べさせていただきますと思います。彫刻の展覧会をあまりご覧になった事がない方をご案内した様なき、よくきかれるのですが、彫刻はどうして観たらいいのか。とよくきかれるのですが、私はそう云う時いつも次のようにおこたえします。肉眼で見て、且つ、もう一つの心の眼で観ると云うこと。彫刻を立体的に感ずる様な気持ちで観ていただきたいと云うことをいつもお話するのです。「私たちは立体の世界に居り乍ら、その世界を眼で見て、立体を立体としてでなく平面の累積のように感じている。」これは高村光太郎が「造型美論」の中で言っていることですが、立体を立体として本当に感じていない。ですからそう云う風に感覚が立体的な感覚になって居りませんから、始めて彫刻をやる様なとき、立体を作るのに非常にとまどうものです。それは彫刻を始めた頃をふりかえって見ると

よくわかります。なかなか手がでなくて、こわい様な気さえて思う様に粘土が着けられない。出っばってところがなかなか出っばらない。へこんでいるところはなかなかへこませられない。ずいぶんと粘土を着けたつもりでも、横から見ると着いていない。立体感覚が働かないからです。立体には中身があるものであり、彫塑を作る場合は当然のこと乍ら中身から作ってゆくことになります。肉眼で立体の表面を見て、中身のある塊り(かたまり)を感じ取る心の眼を養ってゆくことが大事なことです。英国の彫刻家ヘンリー・ムーアはこんなことを言っています。「私達が見ている立体の真の姿は、中身のある立体であり、一つの塊り(かたまり)で、その塊り(かたまり)の一番外側のなれの果ての姿を私達の眼は見ている。」と。立体の表面を見る肉眼を通して心の眼で立体の本質、中身のある立体と云うものを感じ取る。そう云う心の眼が必要だと云うことを云っています。正にその通りですが然し、云うは易く、そう云う心の眼を養うことは中々尋常なことではありません。制作する者にとっては一にも習練、二にも習練、三にも習練、それを通して自分の心の眼を養い育てる。これは下手をすると一生かかっても育たない。あるいは死ぬ前にやっと到達することが出来るかも知れない程に大変に難しいものです。然し乍ら彫刻家であればどうしても到達を目指さ

なければならぬ宿命だと思います。それがないと、即ち心の眼を持たないで制作されたものは、ただ単に表面だけを見て作るだけで、彫刻本性の感動がともなわない。ところが立体感、即ち心の眼を強く持った彫刻家の作ったものは、何か普通のものとは違う輝く様なものがある。塊り(かたまり)の強い感じのある存在感の激しいものがある。それが彫刻芸術の魅力の源泉になります。ただの細工ではない。きれいな事ではない。だから心の眼で見なくては彫刻芸術の本当のところが見えない。ただ単に表面だけを、眼に見えるところだけを見て追っているだけでは本当のところへ到達するのが難しい。心の眼を開かなければならないと云うことです。制作に当たっては勿論のこと、観賞に際しても肝心の大事なことです。どうかそう云うお気持ちで彫刻芸術をご観賞いただき度いと切に思う次第です。(彫塑家・日展会員)

安積の思い出 —今は亡き友人たち—

51期 撞井 保夫

昭和59年9月、母校百周年記念式典に招かれて久しぶりに母校を訪れた際、歴史の重みと式典の盛大さに感激するとともに、50年前の思い出が走馬灯のようにかけ巡った。

私たちが安中に入學したのは昭和9



みんなのため!

- 掛け金が貯蓄にもなる
積立保険 長期総合保険
- 安心と貯蓄の5年プラン
積立ファミリー交通傷害保険
- 6つの保険を1つにセット
自家用自動車総合保険
- 住いと暮らしの
安心パック
住宅総合保険+家族傷害保険

まさか!のために

興亜火災

取締役会長 赤城海助 (第43期)

本社 〒100 東京都千代田区霞が関3-7-3
☎(03)593-3111(大代表)

年。丁度創立五十周年に当り、入学早々の4月末記念式典が盛大に挙行され、夜は提灯行列が華やかにくりひろげられた。祝賀行進歌を高吟しながら市中をパレードし、入学早々からめでたいわいと感激に燃えたものである。

あれから50年。安積の思い出はいろいろあるが、なんといっても青春の5年間、「よく学び、よく遊んだ」友人たちのことが一番であり、特に今回は惜しまれながら夭逝した今は亡き友人たちを懐かしく偲びたい。

1 忠孝君 「チュウ、タカシ」と読む。

小学校からの友人である。昭和初期、女子ばかりだった郡山第2小学校に初めて男子第1回生として入学し、5年生の時、新設の赤木小学校へ集団転校し、同校第2期生として卒業して、ともに安中に入学した仲間である。入学した時、安中4クラスの級長副級長8人のうち、4人を新設の赤木小学校出身者で占めたことが、当時大きく話題になったようだが、中心はいうまでもなく忠君であった。忠君兄弟は秀才揃いとして有名だったが、孝君は特に小学校時代から、あらゆる科目でトップの秀才であり、加えて彼の氏名「忠孝」のもつ神秘性からして、私たち同級生一同彼には絶対かなわんと一目も二目も置いていた。もちろん、安中に入ってから常にもトップで、4年修了で陸軍士官学校へ入学し、将来を大いに囑望されていた。終戦後、少佐で復

員してきたが、職業軍人としても特に生真面目な彼には、あの敗戦のショックは格別深い挫折感を与えたようで、元気がない日々を送っていたことは想像に難くないが、間もなく病死した。惜しい友人だった。

2 佐藤一郎君 忠君と同じく第2→赤木小学校以来の友人で、安中入学時の級長副級長4人組の一人でもある。また彼は当時の安中教諭「カイチャン」こと佐藤勝一先生の御曹子で、温厚篤実な美丈夫であった。安中卒業後海軍兵学校へ進学したが、昭和19年内南洋方面において壮烈な戦死をとげた。

終戦後、私は復員してはじめてこのことを知り、佐藤家を訪れて故一郎君のご霊前にご焼香してご冥福を祈ったが、一人息子を亡くされたご母堂のご心中を察して、しばしお慰めの言葉も出なかった。その時いただいた彼の凛しい海軍士官姿の写真は今も私のアルバムに大切に保存されている。

3 渡辺三郎君 忠君、佐藤君と同じく小学校以来の仲間である。小学校時代から背が高く、明朗活発でさっぱりした性格のガキ大将で、遊び仲間を中心だった。安中入学と同時に柔道部に入り、めきめき頭角をあらわし、下級生の中では頭抜けた存在だった。三年生の時、不運にも肘を痛めて柔道を断念してからは応援団へ転向。上級生になってからは同じ小学校以来の仲間である斎藤正雄君（ひげの応援団長と

して有名。戦後病死）とコンビを組み、応援活動に活躍した。安中卒業後、物理学校（現在の理科大学）へ進学したが、昭和18年私たちが学徒出陣で入営する頃は、もう就職していたと思う。壮行会で励ましてくれた彼が広島で原爆にやられ、悲惨な死をとげたことは復員後はじめて知って愕然とした。惜しい好漢を失なった。

4 竹花禎三君

角田良平君

高宮信義君

私たちのクラスに運動部の強者が3人揃っていた。野球部のエース竹花禎三君（東京桑野会幹事長竹花則栄氏のお兄さん）、柔道部主将角田良平君、剣道部の中心選手高宮信義君である。竹花君、角田君は須賀川、鏡石からの汽車通学組、高宮君は郡山第3小学校出身。3人に共通していたことは、長身でスマート、そしてハンサムで性格は温厚沈着。教室では私もこの3人と一緒に後方の席に机を並べていた。

① 竹花君は入学当時から、すでにその才能を注目されていたが、2年生の頃からレギュラーだったと思う。華やかなフォームで左腕から投げおろす豪速球は県下にその名をとどろかせ、試合ごとに私たち応援団のみならず、一般観衆をも大いに熱狂させたものだった。特に同君が上級生として大活躍した昭和12年、13年は安中が甲子園出場を果たす数少ないチャンスの1つであったが、天われに味方せず、その夢

営業品目

- 産業廃棄物の処理
- 一般廃棄物の処理
- 産業廃棄物の加工

市原不燃物処理株式会社

〒290 千葉県市原市五井 2887 TEL 0436-21-6308

代表取締役鎌田正二（第43期）

を果たせなかったのは何んといっても残念だった。弟さんの則栄氏に確かめたところ、同君は安中卒業後、仙台鉄道局→華中鉄道にスカウトされ、ノンプロ野球界で活躍したが、間もなく軍隊にとられ、昭和18年中支で戦死した。誠に惜しいスターを亡くした。

②角田君は当初あまり目立たなかったが、3年生の頃から急に身長も伸び、柔道の方もめきめきと力づけ、卒業の頃は3段の腕前になっていた。5年生の時には主将をつとめて、「麒麟児」とうたわれ、その名を県下にとどろかせたが、当時の柔道部には同期生に沢口清君（郡山市在住）、佐藤清美君（千葉市在住）、小貫元君（鏡石町在住）等の猛者がいて黄金時代を築き、県大会、近県大会等で大活躍をして、再三優勝旗を郡山へ持ち帰り、在校生の志気を大いに鼓舞したものである。同君は安中卒業後、日大へ進み、その技にますます磨きをかけ、19歳で5段をとって前途を期待されたが、不幸病魔におかされ、戦時中惜しまれながら病没した。

③高宮君は幼稚園で一緒だったが、当時は腕白坊主のピカイチ。安中に入って再会した頃、彼は市内小学校にその名がとどろきわたった少年剣士になっていた。安中에서도剣道部に入り、その絶妙な剣さばきで注目をあび、影山明君（陸士。中国で戦死）、早川龍介君（陸士。郡山市在住）等とともに活躍した。戦後、細谷姓となり、福島

市で経理士として活躍していたが、10年程前残念ながら病死した。

以上、安中在学中それぞれの分野で目立った活躍を示しながら、卒業後、戦争の犠牲になって若くして逝ってしまった懐かしい友人たちであるが、もしも戦争がなかったなら、もしも彼等が健在であったならと思いつつ、その夭逝が本当に惜しまれてならない。

安積の恩師の思い出とその緋名考

52期 吉田 弘俊

「恩師」は死語ではない

1月中旬に、韓国の中央銀行（韓国銀行）のH氏夫妻と会食の際、彼は「私は日本の教育改革問題に関心が深いのですが、日本には“恩師”という考えがないようですね。」と感想を述べた。私は一瞬ドキリとした。儒教の教えの徹底している韓国のインテリの鋭い観察眼からみれば、今や日本では「恩師」は死語と写ったのであろう。私は「その意見は、成程戦後のわが国の教育の盲点を衝いているようですが、少なくとも我々は例えば安積中学の教師から受けた高恩を忘れたことはない。今でも先生方の顔とその尊称、つまり生徒が捧げ奉った愛称は殆ど全部を覚えています。ただ、本名の方はどうも自信がありませんがね。」と返事した。すると、H氏らは急に明るい表情と

なり、「50年前の教師を皆覚えているとは驚ろきで、日本の教育の凄さと偉大さを知らされた思いがします。」
「それにしても安積中学の教師と生徒の間の師弟愛は、尊称（アダ名）に凝縮されているようで感心しました。」などと言い出したので、期せずして哄笑が起った。

アダ名のない先生もいた

さて、家に帰ってから私の在校中（昭和10年4月から、卒業前に海軍兵学校に進学した昭和14年まで）の先生方を思い出すままにリスト・アップしたら、その正確な「本名」の方はあやふやで、覚えているのは殆どアダ名ばかりであった。

このようなことでは申し訳ないと深く反省して、早速若干の資料等を調べて、教室や部活動や課外教育などでお世話になった「わが恩師名簿」を纏めてみたので、参考までに別表に掲げでご高覧に供したい。

恐らく東京桑野会会員でも、40期前後から60期位までの方々には懐かしい名前ばかりであろうと思う。ところが何とこのリストをみると、どうしてもアダ名の思い出せない3名（1割）の先生がおられたのに気が付いた。3先生を着任順でみると、羽曾部校長（昭和9年から10年間、東京高師卒）、原先生（昭和11年から3年間、一高・東大文学部卒。国語）及び永井先生（高師・文理大卒。数学）で、殊に原・永

騒音・振動・超低周波

〈計量証明事業登録第507号〉

- 現況調査 ○予測計算 ○防止対策計画
- 消音・防振装置の設計と製作
- 実績 エネルギー・運輸 金属・化学
電子・機械 繊維 機械 紙パ
自動車 造船 食品



東昌エンジニアング株式会社

〒108 東京都港区港南2-12-26 港南パークビル

電話 03-471-5891 代表

代表取締役 鈴木健生（第48期）

井岡先生は私共52期の「学級担任」であつたので忘れられない。なお、3先生の名譽のために一言付言すれば、生徒から“尊称”を奉呈されなかつたからといって、決して生徒達の人氣が薄かつたということはなく、他の先生方同様に全生徒から深く敬愛されていた。

例えば、原先生は昼食を殆ど職員室ではとらず、生徒と一緒に教室で済ませ、食後の休憩時間の雑談は愉しくかつ教科以上に有意義で格調も高いものがあつた。人生論・哲学・時評・月旦等々を淡々と話されていた姿が懐かしい。ところでくわしい事情は解からないが、急に徳島の女学校に転任されることとなり、我々生徒は泣きながら郡山駅頭で先生と別れを惜しんだ記憶は今なお鮮明である。

なお、永井先生は、今でも同級会などに出席して下さってお元気だが、全校生徒の信望を一身に集めていた高潔な羽曾部名校長は、退職後軍需工場の保土谷化学で動員学徒を指導中、昭和20年4月12日米軍の空襲で爆死された。誠に哀惜の極みである。

アダ名の由来について

別表リストに挙げた全先生について、一々説明しては、キリがない。それで次回から、名物先生中の名物先生の思い出とアダ名の謂われを述べてみたい。(つづく)

(五十嵐冷蔵KK, 専務取締役)

■わが恩師・名物先生一覧 (昭和14年までの着任順)

(M・T・Sは夫々明治・大正・昭和)

氏名 (敬称略)	担当科目	在勤年数		尊称 (カッコは初期)
		着任年月	退任年月	
菊池 沖之介	英語	M42,7	S27,3	38 オキちゃん(豆ランプ)*
武知 晴三郎	博物(生・鉱) 図画・音楽	T 8,9	S28,3	34 ヤッペさん
渋谷 好	国語(現代)	T11,4	S20,11	23 父ちゃん
鈴木 忠康	博物(動植物) 衛生	T12,7	S21,3	23 デカン
玉造 太郎	英語	T12,3	S17,11	18 タマちゃん
長尾 武男	国語(古文・文法)	T13,8	S15,3	15 スマンヤ(イナゴさん)*
蓮見 長	国語・漢文	T14,1	S14,3	14 ポーズ(文化坊主)
佐藤 健吉	理科	T14,3	S15,7	15 ケンちゃん*
紫野 莊三郎	剣道・体操	T14,6	S14,8	14 タヌキ(出目)
斉藤 千代吉	国語(古文・文法)	T14,9	S11,3	11 トンボ
浜崎 五郎	商業・柔道	T14,12	S31,3	31 ガニさん
大坪 肇	英語	T15,3	S17,6	16 ツボさん(モダンボーイ)*
室根 義人	数学	T15,3	S32,3	31 ヤマアラン(ミミズク)
松田 祐吉	地理・歴史	T15,3	S19,5	19 ベチョさん(ベチョラ)
松崎 友文	商業・英語	T15,10	S15,2	14 ブルさん(ブルドック)
佐藤 勝一	国語・漢文	S 1,12	S21,7	19 カイゼル
斎藤 矯	歴史	S 2,5	S19,4	17 キョウさん(ホラキョウ)
遠藤 茂雄	教練	S 3,2	S20,9	17 ダルさん(達磨大尉)
吉田 安世	体育	S 4,4	S20,5	16 ジョッキさん(黒ちゃん)
奥山 常夫	英語	S 4,4	S22,10	18 坊っちゃん
大野 三郎	数学	S 4,6	S14,3	10 ポテト
山下 邦雄	国語・漢文	S 5,4	S11,10	6 チュージ
居駒 永俊	理科(化学)	S 5,7	S12,9	7 ヒラメ
庄司 英夫	物理	S 6,4	S14,3	8 丹下左膳
石川 一郎	美術(図画工作)	S 8,4	S16,3	8 ゴエモン
唯野 一	英語	S 8,12	S19,1	9 ボンジ(凡兒)
真船 博志	農業・園芸	S 9,3	S15,3	6 カマキリ
羽曾部 千代八	校長・修身	S 9,10	S19,4	9
阿部 常治	歴史	S10,4	S14,5	4 流線型
原 重一	国語	S11,6	S14,3	3
永井 茂樹	数学	S14,4	S17,12	3

(注) 1、備考*の4先生は安中O,Bで、菊池(15期・M36年卒)、長尾(32期・T9年)、佐藤・大坪(34期・T11年)
2、授業等を受けなかつた先生は思い出せず割愛した。



FROZEN FOOD

五十嵐冷蔵株式会社

〒108 東京都港区芝浦2-10-5

TEL 03 (451) 1111 (大代表)

テレックス 242-4442

専務取締役 吉田弘俊 (第52期)

日航機墜落事故と 歯科医学

58期 山本 佳

昨年最大の不祥事は何といっても真夏の日航ジャンボ機墜落事故であった。単一機世界最大の事故のショックは余りに大きく、いつまでも長く尾を引き人の心から離れない。終戦後四十年のエポックの八月が日航機事故一色となっていた。ひぐらしの一つが啼けば二つ啼き山みな声となりて明けゆく御巢鷹山中の慟哭が聞こえる様な夏であった。

遭難者名簿の中に、十年前に来院した患者さんの名がありカルテを調べた。実日数二日、中止の転機で歯科的資料に乏しく警察への届出は控えていた。身につけていたYシャツのマークが手掛かりで東京のクリーニング屋さんが呼び出され身元が確認された。間もなく群馬県で開業している友人が毎日現場に向向して検視をしているとの報告を受けた。八月末、伊香保温泉で彼の慰労を兼ね友人夫妻三組で一夜会合を持った。警察医の腕章をして藤岡の遺体安置所から直行した彼は声がしわがれ、身辺には事故の生々しさが漂っていた。彼から文字通り筆舌に盡し難い現場の話聞く事が出来た。その後「日航機墜落事故の現場検証・・・歯科医は何をしたか」という演題で警視庁警視のO氏から講演を聞

く機会を得た。ここでは歯科医の立場から検視歯科医とO氏の体験談の概要を報告し参考に供したい。

●検視官として数千体の検視をしてきて慣れている筈だったが、現場を見て余りの悲惨さにどこからどういふふうか手を付けてよいのか戸惑う状況であった。

●後部胴体には四名の生存者とフライトレコーダーやボイスレコーダーが無傷で回収されたのに比較し、前部は燃料のため爆発炎上し、炭化した遺体等で目をおおう有様であった。

●遺体の発見順序に従って番号を粘着テープで巻きつけ、はずれないようにして藤岡市の安置場まで運搬した。遺体に頭部の残存するものを一体と数え、頭部がないものは一部遺体とした。犠牲者は524名だが、お棺の数は1700個にもおよんだ。

●群馬県においては2年前警察医会を設立し、医師150名、歯科医師23名が加入している。しかし身元確認は想像以上にむづかしく、173名の先生方では足りず各方面より応援を依頼した。9月21日現在で、医療面での動員数は医師のべ1953名（人数では医師472名、歯科医師361名）、看護婦のべ564名であった。さらには地元の婦人会等のボランティア活動もあり、頭のさがる思いであった。

●遺体安置所となっている藤岡市民体育館は連日の猛暑で、遺体の死臭、ホルマリン、ドライアイス、焼香、防腐

剤などの刺激で想像を絶するパニック状態であった。マスクの上にタオルで口をおおう状態であった。検視医、検視歯科医、警察官、自衛隊員の方々は、喉をやられ、声はつぶれ、目もショボンショボであった。泥まみれの肉片や遺体の汚れた一部をプールで泥と肉をわける為の洗滌、そのうちウジが発生し、バキュームカーでウジを吸いとる作業で猖獗を極めた。

●検視官の身元鑑別の最後の決め手は（血液型は基本的条件として）次の3点である。イ、歯型、ロ、身につけていた身分証明書、ハ、指紋。

●日数が経つ程、鑑別が至難となり、墜落事故のニュースで歯型という言葉が頻発する様になった。硬い組織の骨や歯、殊に個人差が顕著な顎骨、歯牙の持つ意義の重大さがクローズアップされて来た。

●歯科医療を受ける時、撮映するレントゲン写真、殊に顎全体を撮影するオルソパントモという断層写真は抜群の説得性があった。全国の歯科医院からの資料をもとに鑑別確認された身元不明の遺体は全体の4分の1で資料としてはナンバーワンであった。

以上が現場検証の報告の概要だが万一、東京都に災害が起こったらどうなるのであろうか、東京都の防災計画や多数の死体の処理要領等の行政機関が定める規定企画は果たして万全であろうか、日航機墜落現場の反省から警視庁が各地区の歯科医師会に、大規模災

有利さて選ぶなら

中期国債ファンド

1 カ月複利の効果で
いつでも一番有利



借成証券

本社 東京都中央区日本橋兜町13-2
☎ (666) 1431 (大代表)

取締役営業担当 近内靖夫 (第69期)

害時等における遺体の身元確認作業の協力依頼をしている現況である。

つい先日の話、通院している商社マンが海外出張を命じられた「先生!!!

私が万一 飛行機事故の場合は身元の方、お願いしますよ」「はい、大丈夫です、レントゲンも保存してありますから」冗談とも本気ともつかぬ会話でどちらからともなく確認しあった。

(歯科医)

ハイテク繊維と 東北新幹線

58期 本宮 達也

筆者は現在繊維会社に勤務するかたわら学会の仕事を手伝っている。繊維というと衣料というくらいわれわれの身近になっているが、ハイテク（高度先端技術）分野に利用されていることを知らない人が意外に多い。

例えば、慢性腎不全患者の尊い人命を救っている人工腎臓は、中空繊維がルーツで、その中空繊維のルーツは絹糸をまねた三角断面糸である。

絹糸の三角断面糸は、独特の光沢、肌ざわり、ドレープ性を持っている。この原理にヒントを得て、合成繊維から「田型中空断面糸」「異型中空断面糸」などを開発し、快適な衣料やカーペットに使っている。

またエレクトロニクス産業の光ファイバーなどは繊維の技術そのものだ。プラスチック光ファイバーは、合成樹

脂の重合技術と得意な紡糸技術と組み合わせ、サヤ（外側）と芯材（中心部）を同時に延伸する二層構造になっているが、この延伸技術は繊維各社のお家芸の技術である。

繊維の強度や欠点のない原糸をつくる技術を活用したのが炭素繊維で、ゴルフシャフト、テニスラケットのほかボーイング767、エアバス-310に炭素繊維複合材が多く使われている。

われわれに合成繊維の製造する方法を教えたのは蚕である。ゆっくりと頭を振りながら吐出する蚕の絹糸に魅了されて、ナイロンが生れ、最近では「ナイロン以来、最もセンセーショナルな繊維」といわれている「鋼鉄よりも強い夢の新繊維ケブラーが米国・デュポン社で開発されている。さらに「スーパー繊維」として軽くて強いポリエチレン繊維が登場し注目されている。

天然繊維は高機能繊維として、合成繊維は高性能繊維としてわれわれの生活を支えている。

筆者は、天然繊維の座布団からヒントを得て、東北新幹線の騒音低減する弾性枕木用被覆材を国鉄技術と共同で開発した座布団の代りに3層構造をもった特殊ウレタンエラストマーをコンクリート枕木に一体成型して敷設したものだ。幸い騒音の低減がはかられ、かつ乗り心地も好評のようだ。

多感な青春の一コマを安積野で過ごし、何か東北地方の皆さんにお役にた

ちたいと日頃思っていたが、はからずも東北新幹線の建設を通じ、騒音低減と乗り心地という点で、いささかお役にたてたと思っているこの頃である。

(繊維学会副会長 日清紡織技術部長)

玉子一個で七膳のめし

63期 古川 清

仕事上外国行きが多いので各地で旨いものにあついた。パリはトル・ダルジャンの鴨料理は最高だし、ロンドンにはシンプソンのロースト・ビーフもなかなかいける。併し安中時代同級の太田君から貰った、たった一個の玉子の旨さには敵わない。

終戦の年の春、宿題を手伝った恩義に感じた汽車通の太田君は生みたての玉子を持って来るから駅迄出迎えろと言う。新聞紙にくるんだ固い感触をこっそりと手渡された私は家迄走り、（太田君と同じ時間に登校せねばならない）一個の玉子で七膳のめしを平らげたのである。一個の玉子で七膳食うには、白身で四膳、黄味で三膳食べねばならない。白身を一寸切っては飯に乗せ、醤油をドボドボと掛けて食べたのだが、その旨かったこと、食べ乍ら、俺はもう死んでも良い位だと思ったことをはっきりと覚えている。

今や戦後40年、日本の国際的地位の向上には目を見張るものがあるが、特

ど〜んと有利で出し入れ自由

中期国債ファンド

- 1ヵ月複利
- 手数料なし
- 出し入れ自由
- 適格

第一証券

本店・東京 日本橋 三越前
☎(03)244-2611
全国主要都市99店舗
海外/ロンドン・ニューヨーク・香港

設定運用は第一投債
お申込みの際は受益証券説明書をご覧ください。

に食生活の豊富さは世界随一と言っても過言ではない。レストランにしても、中国料理やフランス料理は世界の最高水準にあるし、南米や東欧、更にはベトナム料理に至る迄その種類も豊富である。一般家庭においても韓国産の蛤、中国産の野菜、米国産の馬鈴薯等々国際色豊かであり、世界全体が日本への供給基地になっている感すらある。全く有り難度いことであるが、この有難度味を正しく理解して貰うことが必要なのではあるまいか。この豊さは戦後の日本政府の政策選択が正しかったことを立証するものであり、今後何らかの理由により政策選択を誤ることがあるならば、自給能力の乏しい日本は忽ちにして、貧困と苦難の世界に陥入る可能性があるからである。

私は今や玉子一個で一膳の身に出世したが（それすらコレステロールが多いので警戒せねばならない）、再び玉子一個で七膳の時代に戻りたいとは思わない。併し、国連など平和維持機構がこれ程発達した現在においても、秩序が崩壊し貧しさと困難に引きずり込まれた国は一、二に止らない。レバノン然り、アフガン然り、カンボジア然りである。その理由は様々であるが、他の国々に対し貴重な教訓を示していると思う。平和と豊かさは、作り上げるのは容易ではない。併し失うのは簡単である。1968年夏のチェコ事件の直後、私はプラハを訪れたが街角で出会った、気品ある一老人の次のつぶや

きを忘れることは出来ない。「戦前のチェコは素晴らしかった。物資は豊富で普通の労働者も自家用車が持てた程であった。それが今や、玉子や肉を買うにも長蛇の列である。共産主義になるとどうして国が貧乏になるのであるうか。」（駐オマーン大使）

妻の目に映った安積高

64期 佐藤 司

時折かかってくる郡山や安積の先輩・同級生からの電話に妻が出ると、電話のあとで必ず、「奥さんは安積女学校の出身ですか」ときかれる。それほど安積中学・高校の同窓生は安積女子高を何十年の歳月がたっても「青春の想い」として風化することなくもっているものと思われる。現に私の知っている範囲でも、50期の佐藤義重（彫塑家）さん、63期中城正雄（演出家）さんを初め多くの先輩・同輩の奥様は安積女学校出身である。一昨秋、創立100周年を迎えた安積中学のことだ。卒業生も2万5000名に及ぶのだから奥様も安積女学校出身の方も多かろう。そうは思っても、そうたやすく割り切れない心象風景のなかに、馥郁たる香がただよってくるのはどうしたことだろう。

私の妻は、横浜生まれの全国放浪児。とは言っても浮浪児ではない。親

の法務省の転勤にともなって、北は北海道から南は九州まで、小学校から中学校まで6回転校した。最後の桜蔭学院と大学だけは不思議に転勤の影響からまぬがれたようだが、そんな彼女から見れば、名門安積中学・高校の6年間の生活は羨望の的である。したがって、安積中学・高校に最大の関心をもっている。安積中学の建学の精神である「安積魂」は、「開拓精神」と「質実剛健」、「文武両道」の三つからなりたっている伝統だと見事に分析してみせてくれたのも彼女である。

多感な逸脱しやすい青春前期の青春群像に受け入れられて、現在でもその伝統が息づいていることに驚嘆の声をあげたのも彼女である。しかも安積の卒業生が往時を懐かしむとき、必ず口くちにするのは、そこで学んだ恩師の名物教師の一挙一投足に表われた、まじめに生徒に対応する姿に、深い感動と感銘をいまだに受けていることだと言う。そこでは教師と生徒との間に「生きた学問」が伝えられたふしがあるとも言う。たしかに「ヤッペ」「沖ちゃん」「デカン」「ジョッキ」「オポロ」「山アラン」「ガニ」と誰れ一人とってみてもユニークな他の追従をゆるさない見事な教師像である。現今の教員組織では、このような名物教師を育てるよすがも、在りえようはずもなく、特に県立高等学校ともなれば、一片の辞令による頻繁な異動によって教師と生徒との心の交流も求め得ない

帝人殖産株式会社

●マンション●賃貸ビル●共同事業

●東京本社●〒100 東京都千代田区霞が関1-4-4 ☎(03)506-4940

□事業企画部長 水口 禎 (67期・高校6期卒)

であろう。そこに、私の妻ならずとも、おしみてあまりある教育の原点に触れる問題がよこたわっていると思うのは彼女一人ではないであろう。

教育、学問、それは長い春秋を経て、その成果が評価されるものであろう。安積の卒業生が財界で名をなしたとき、東京に母校の寮を造り、東京桑野会が管理して安積寮（桑野寮）と名付け、出身者の五番から十五番までの卒業生の一切の面倒をみた。一番、二番の最優秀の生徒の面倒をみないで五番からの子の面倒をみたところに、その異色さがある。これも私の妻が最も喜ぶところである。そう言えば、永戸政治さん（21期）が、東京桑野会の会長時代、およそ35年前にさかのぼるが、上京したての田舎者よろしい大学一年生であった私達に、日比谷の松本楼でフランス料理をたべさせてくれたあの心遣いこそ、爽やかで、さりげない中にも、一流の本物で磨く、先輩の温かさをしみじみと想ったことであった。

粹人で通人として知られる功なり名とげた作家の久米正雄氏が、生前、母校の田舎中学生（失礼!!）の鎌倉修学旅行では、出迎えの番頭よろしく駅に出迎え安積の中学校の旗を立てて鎌倉市内を案内してまわったと言う。それを当時の生徒は感動を持って語り伝えている。そこに、切っても切れない目にみえない先輩と後輩の太い絆があると見るのも私の妻である。そうゆう意味で、今では、家内は安積女学校

出と思われるほどの安積桑野会の大ファンである。（亜細亜大学法学部教授）

マンション法改正その後

64期 渡部 喬一

マンション法が改正されて2年が経過した。この改正はマンション居住者にどのような影響を与えただろうか？

マンション法とは正式には「建物の区分所有等に関する法律」といい、分譲マンションにおける入居者（所有者）間の権利関係、管理関係等を調整するために制定されたものである。この法律は昭和37年に制定されたが、その後、分譲マンションの急速な普及と大型化に伴い、当時予想されなかった様々な問題がおこってきたため、これに対処するため、昭和58年5月公布され翌年1月1日より施行された。改正点は、大別すると、登記制度の合理化と、マンション管理、所有者相互間の権利調整に二分できる。このうち登記制度については比較的問題は少ないが、管理に関する改正点に関しては、多少、問題があるようである。つまり、改正法によると、近隣に迷惑をかける居住者を追い出したり、老朽化したマンションを建て替えることが、多数決でできるものとされている。この規定が正しく運用されればよいが、運用を誤ると、少数者の切り捨て、村八

分といった問題がおこりうる。こうした指摘が改正法施行前に話されたが、施行後、今までのところ、表面上こうした問題はおきていないようである。

ところで、改正マンション法を上手に利用した最近の事例とし、暴力団をマンションから追い出した横浜の事件がある。マスコミにも報道されたのでご記憶の方も多いと思うが、この事件ではマンションの一室を組事務所に使って、常に暴力団関係者が出入りし住民が安心して暮らせない状況にあったようである。改正法によると、所有者は建物の管理や使用について他の所有者の共同の利益に反する行為をすることが禁じられており、これに反した場合、他の所有者は違反行為をやめるよう警告し、差止を請求することができる。更にそれでも効果がなく、共同生活関係円満な維持、継続がもはや期待できないほど重大である場合には、その建物の使用禁止、競売の請求が認められる。この手続きは、所有者の頭数と各所有者の占有部分の床面積の四分の三以上の多数で決議し、裁判所に、使用禁止、競売を求める方法で行なわれる。この請求に対し、裁判所は理由があると判断すれば、使用禁止、競売を命ずるのである。現在、分譲マンション入居者は大変多く、管理等に悩みを持つ者も多いようである。改正マンション法の内容を知ることは、こうした悩みを解決する一つの糸口になるだろう。（弁護士）

秋津冷蔵株式会社

代表取締役社長 結城 洸 (55期)

本社：〒552 大阪市港区港晴5-2-60 電話 06-571-7265(代表)
東京事務所：〒100 東京都千代田区丸の内2-1-2 千代田ビル530号室
電話 03-216-2738

安高の思い出

69期 近内 靖夫

東京の中学を卒業目前にして思いがけず生まれ故郷の郡山へ移ることになり、安高受験の願書を郵送したのだが、受付け日前に到着したらしく、願書受付日まで留置きになり、偶然にも受験番号が一番。

試験日の整列、試験場入場など先頭に立っての受験であった。あとにも先にも学生生活で一番は唯一のもので、それ以来一番に出合うチャンスもない。合格発表も右側一番上を見ればよく、受験生に一人の知人もいなかったことから立ち止まることもなく、あっけない合格発表であった。

最初に手にしたAに赤色のついた一年生用の学年章がうれしかったが、次第にみどりや青色の学年章の値うちを知らされた。早々にバスケット部に入部したが、最後までこのった同級生は三人になってしまったが、先輩のおかげで大勢の仲間が広がっていった。

旧制の中学、高校のパンカラにあこがれて白いはな緒の朴歯をならして歴史のある校舎へ登校するのが大変ほこらしい、はれがましいことであった。あこがれの寄宿舎は廃止されており、市内からの通学にもかかわらず、同級生の下宿にころがりこんで下宿生活を楽しみ、柔道部のタタミを借りて合宿

生活をしたりの楽しい高校生活であった。

同級生が頭髪を伸ばせば、(当時禁止事項であった)グレイのズボンをはいて登校して早速校長室へ呼びだされたり、理屈をこねまわす上級生になるのに時間はかからなかった。

泊まり込みの遠征試合の時の米の調達、運動具店と用具の値引交渉、時には校舎の片隅にあった売店で売っていたアゲパンを全部買占めをしたり、(金儲けのためではない、部員の食糧確保のため) 学業以外の仕事が忙しい日々であった。

当時のバスケット部は大変貧乏であった。

各校共通常は濃淡二枚ののユニホームを持参するが、安高は色あせた茶色の様なユニホームが一枚だけで、代表者会議で安高のユニホームの色を問われて、“うす茶一枚”と答えていつも赤いタスキをかけて試合をしていた。

在学中は一度も優勝の経験がなく、試合のたびに涙を流すことばかりであったが、我々の卒業後は度々優勝や、県代表の話聞くことができ、うれしい限りである。

毎年、正月三日にバスケット部のOB、現役の新年会開催の連絡をいただくが一度も出席できないでいる。

幹事の努力で安積クラブの会が継続している様子、是非一度三十年たった安高バスケット部の皆さんにお会いしたいとおもっている。(借成証券取締役)

1985年夏のアメリカ

71期 佐藤栄佐久

日米の貿易収支はこのところ毎年のように不均衡の度を深めています。たとえば1984年の数字をあげてみると、アメリカの赤字は、1,074億ドル。前年の611億ドルを77%も上回っています。一方、日本の貿易収支はますます黒字で、83年の315億ドルから一挙に40%増の443億ドルとなっています。このインバランスは1985年にはなお大きくなろうとしており、こうした現状が、日米経済摩擦をひきおこす「引き金」になっているのはいうまでもありません。

冷静に分析すれば、アメリカの赤字は、ひとり日本ばかりでなく、その背景にある財政赤字やドル高、あるいは高金利といった要因が働いているのは誰の目にも明らかなのですが、ことはそういう経済問題からわきにそれてしまい、最大黒字国の日本が「やり玉」にあげられ、「失業問題は日本がやみくもに輸出攻勢をかけてくるからだ」「それなのに日本は対等の市場開放を行っていない。アンフェアだ」といった感情論が横行し、とにかく日本が悪いという風潮が一般的になりつつあります。

宮沢喜一自民党総務会長と私たち同行議員団がアメリカに向かったのは、



中外製薬

胃粘膜保護作用の

中外胃腸薬

60錠・120錠・220錠/36錠・72錠・144錠〈携帯用〉



松本幸四郎

CHU5541

そうした火の手がまさに燃え上がっているさ中、1985年7月のことでした。

手術直後のレーガン大統領には会えなかったものの、ワシントンでは、ブッシュ副大統領、シュルツ國務長官をはじめ、政府要人や上下院の議員関係者と会い、経済界やシンクタンクのトップと存分に語り合いました。さらにニューヨークのジャパン・ソサエティでは宮沢講演があり、この間を縫って、キャサリン・グラハム女史やキッシンジャー、ロックフェラー氏たちの晩さん会などで、日米経済摩擦をどう解決するか、突っ込んだ話し合いを行ないました。

この訪米は、結果として日米経済摩擦の現状を見つめ、ひては、日米双方がこれから努力すべき方向を探るものとなりましたが、私たちの進むべき道はそう簡単ではない、というのが私たち同行議員団の一致した感想であります。

日本の内需振興・・・という方向一つをとってみても、この厳しい財政事情の中で具体的にどうするのか、どう知恵をしぼってゆくか、血のにじむような努力を積み上げていかなければ、解決の道は開かれなれないと思われま

す。いみじくも宮沢総務会長は「幸いにして日米はいま戦争をするわけにはいかない。だから双方が努力して英知を出し合いさらに努力するほかはない」と語っていますが、これは私たち一人一人の実感でもあります。(参議院議員)

私のルネッサンス

74期 高松ゆたか

あい間をぬってヨーロッパの美術館を訪ねたのは昨年夏でした。ルーブルが主でしたが約12日間熱心に観賞したせいか帰途はクタクタになってしまいました。実際はせっかく来たのだからとばかり良く見すぎたせいばかりでなく、その膨大な絵画と彫刻群、壁画のスケールの大きさ、作家の力量にノックアウトされたのが正解に近いと思います。いっぺんに絵画文化の坩堝の中に飛び込んだので記憶が雑多に重複してどの絵がどうだったのかいまや整頓不可能になってしまっています。強いて印象深く生き生きと甦る絵は、たとえば私にとってはラファエロを中心とするあのルネッサンス期の作家達の作品群だと言えます。その理由は恐らく、つまり自分でも自信がないのですが実にシンシに人間の内面にかなり強く迫っているのを感じとったり確かめたりしたからではなかったかと思っています。

学生の頃、何やら自称論客がアトリエ兼下宿にやって来て食パンの耳等かじりながら社会科学だの自然科学だの、何だかよく解からぬ”文化論”をぶちあっていたその頃、いきさつ不明ですがやがて来る西暦2000年の21世紀への変り目を節目として焦点のように

とらえ自分の仕事の方向を向けていこうと論じ合っていたものでした。その頃は1960年だったから40年先をどう見通し、従って自分はどんな対応をしながらどんな考えを基に絵を続けてゆくかといったような具合でした。おおかたは科学の波にすっぽりと覆われて科学文明にがんじがらめになってしまい人間の人間らしさ等大切なものが知らぬうちに変化していくのではないかと考えていたように思います。つまり洗濯板や千六本のお付け、読み書きそろ盤型の学校教育等、音ではマナ板のトントンやはたきのバタバタ、ぜんまい時計のチクタクボンボン等が夢幻の如く遠くなって消えてゆき、なぜか昔は良かったと振り返る時代になるだろうとこんな具合に教えていたように思います。あれから25年目の今日この頃、津々浦々ニューメディアの時代の到来となってより網の目のように網羅されつつあるようです。確実に科学の成果が台所から天上にまで展開されて果たして14年後頃はどうなっているのだろうか、便利さの開発に限界はないのだろうかからもうすっかり汗をかく事も、そろ盤をはじく事も、文字を書くこともお料理も科学がやってくれる事になりそうです。便利さが人間性をいづしか変化させるか喪失してゆく可能性が私にはだんだん濃くなっていくように思います。やがてその頃、人間って何んだ？人間らしさって何んだらう？といわば人間再考の問いが問い始

使うときだけパツと開く、
インテリア感覚の
換気扇。

うすピタ

日立換気扇

 日立家電

日立家電販売株式会社
〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)
TEL (03)502-2111

められるのではないか。とすると学生の頃に考えていた2000年へ向けての仕事の主題は私にとって人間らしさという極めて素朴な問いかけではなかったかと思えます。

ヨーロッパの美術館を巡ってその印象を回想しながら私にとってルネッサンスとは何んだらうと、心当たりを書いてみました。

PR 1988年秋第10回個展を予定しています。どうぞよろしく。(画家)

安積であること

90期 荒井 広幸

「みんな元気でやってるかい」

「ちゃんとめしは食ってんだべない」

これが、懐かしの先生の開口一番であった。東京は大塚、啓成予備校で大学浪人をしていた時のことである。

案内役の予備校の校長先生は「全国の数ある高校のうち、卒業生を訪問されるのは、安積ぐらいのものですよ」と話された。

わが母校の先生方は二人一組で、毎年浪人生をぐるっと訪ね歩かれる。

勉学よりも、むしろ日常の食生活や健康を気づかって下さる。

有り難く、嬉しかった。

ここに学んでいた4人が久しぶりに集まっている。

先生と話すうちに、青色き顔の我々は、いつか安積健児の血をとりもどしていた。

「やっぱり安積だない」と流れてくる気持ちで一杯になった。

仕事に追われ、安積を体験することは少なくなったが、あの日のことは忘れられない。確かに安積がありました。

その後、早大雄弁会に入り、小さい頃からの夢である政治家を志しました。在学中、渡部恒三元厚生大臣の書生から、徳永正利前参議院議長の第2秘書になりました。

この間、沢田会長・竹花幹事長さんはじめ東京桑野会の役員・先輩諸兄の事あるごとの機微にふれるにつけ、安積である喜びと誇り、そして何よりも有難さを痛感致して参りました。

この感謝を胸に、一人立ちして微力ながら福島県と田村郡のお役にたつよう、力一杯働きまわりたいと決意し、東京を去ることに致しました。

東京桑野会のあたたかさに包まれていた私は幸せ者です。出来れば在京の多くの私の期の同窓生にもと思います。

時に、今では卒業すると、その多くが在京して浪人生活を送ると聞きます。

浪人時代は淋しく不安なものです。

いつか「浪人生を励ます安積の会」が開かれることを楽しみにしております。そのためのお手伝いを是非させて

いただきたいと思います。

生まれ故郷の田村郡は雪が降っているそうです。安積の名を汚さぬよう自分自身を磨き、精進努力し、心をこめて政治を行なえる人になりたいと思います。

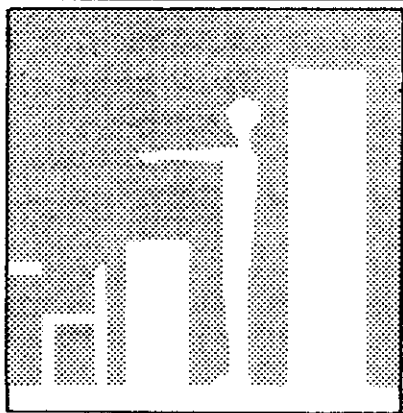
先輩諸兄皆様のご健勝を切にお祈り申し上げます。(徳永前参議院議長秘書)

安積高校の思い出

94期 鎌田 光明

創立百周年記念の椿山荘での催しに、学生であった私も末席を汚させていただきます。実に多くの方々にお会いできたが、やはり同窓とはいいいものだった。ただ、同じ高校を出た、というだけで、世代、職業を異にする人が出会い、話が弾むのである。勿論、懐かしさもあるのだろうが、寧ろ“安積高校(中学)出身”という“絆”が強いからであろう。人それぞれの心に残る思い出が結びつけるのである。

私の心に残る思い出の一つに応援練習がある。入学早々、一年生全員が放課後集められて、校歌や応援歌を練習させられるのであるが、まだ髪の毛伸びきらず、中学生らしさが残っていたときであったから、応援団の上級生の竹刀を叩きながらの練習はさすがに気合いが感ぜられ、真剣になって大声を張り上げていた。口の開き方が小さ



快適な暮らしに役立つ

応接・収納セット専門メーカー



マルクワ家具株式会社

株式会社 マルクワ

本 社 ●345 埼玉東北葛飾郡杉戸町2360 ☎ 0480(32)1131
卸センター・ショールーム ●345 埼玉東北葛飾郡杉戸町2360 ☎ 0480(32)1137
杉 戸 工 場 ●345 埼玉東北葛飾郡杉戸町2370 ☎ 0480(32)1131

営業部長 橋本大三郎
66期卒

かったり、下を向いていたりすると、容赦なく罵声が飛んできた。歌詞がうろ覚えであると前にだされて歌わされるので必死だった。登下校の途中や風呂の中で歌ったりして、とにかく勉強よりもこちらに気をとられていたように思う。“教え歌”などもこの時初めて教わるなどの楽しいこともあった。これが、安積魂なるものを植えつけられた最初であったように思う。そして、今でも校歌や“紫”を機会あるごとに歌えるのである。

応援練習も男子校ならではのものが、やはり男子校ならではの淡い思い出もある。

私は家が近いせいもあり徒歩か自転車で通っていたが、汽車通の連中が羨ましかった。毎日、安女をはじめとする女子高生に会えるからである。「〇〇線の△さんは美人だぞい」とか「いや〇×線の□さんのほうがめんげ」などと聞いては、中学のアルバムを持って来させて批評していた。気に入ると、時々用もないのに駅まで行って実物を見たりした。「何を軟派な」と思われる先輩（特に大先輩）もいらっしやるだろうが、“昔は安女前をバスが通ると傾いた”と先生から聞いておりましたので同罪だと思います。又、女子校の文化祭にも欠かさず足を運び、警女や福女へも行ったとき、偶然にも担任の先生に出くわして顔がひきつったのを覚えている。しかし、別に怒られもしなかったので、先生も私たちの気持ちを御理解して下さったのだと思っている。

思い返すと実にいろいろなことがあった。思い出し笑うものもある。そしてその全てが安積高校を舞台としている。安高での3年間は私にとってかけがえのないものであり、そのおかげで今の私がある。更に、こうして多く

の方とのつながりも生まれるのである。実にいい学校だと思う。

私も春から社会人となり、正式に東京桑野会の御仲間に加えていただけます。まだまだ至らないところが多く、何かと御迷惑をおかけするでしょうが、同窓ということで面倒をみてやって下さい。宜しくお願い致します。

(早稲田大学・学生)

企画部からのお知らせ

「安積健児像」(ブロンズ・レリーフ)頒布について

母校を訪れるとまず、旧本館玄関前左側に安積の新しいシンボル「安積健児像」が誇らしげに建っているのが、目につきます。

これは、母校創立百周年記念事業のひとつとして、日展評議員の佐藤静司氏(45期卒)が制作した明治、大正、昭和の三代の安積の生徒の姿を表現したブロンズ像です。

昨年春の叙勲で当会の沢田会長が勲一等瑞宝章に輝いたとき、会員有志が、佐藤氏にお願いしてこれのブロンズ・レリーフを制作していただき、会長にお祝いとして贈り、大変よろこんでいただきました(会報6号既報)。

ところが、これを見た会員の中から、ぜひ自分もこのレリーフが欲しいという声があがり、再度佐藤氏にお願いしてこれを手頃なサイズに縮小したレリーフを制作していただき、二十数名の会員にお頒けしたところ、大変な好評を得ました。

そこで当会企画部としては、ひろく会員に上記ブロンズ・レリーフ(約14、4cm×17、5cm 台板付、表紙写真参照)をご紹介します、希望の方に実費でお頒けすることにいたしました。

お申込は下記のとおり承りますので、よろしく申し上げます。

- 1、頒 価 30、000円(送料込み)
- 2、申込み 同封の郵便振替用紙で前払い申込み。なお「レリーフ希望」とお書き下さい。
- 3、発 送 申込み受付順に発注し出来上り次第発送します。
- 4、問合せ先
〒160東京都新宿区新宿1-3-8
YKB新宿御苑804 齊藤法律事務所
電話 03(356)6677 齊藤英彦 69期

編集後記

待望の各期幹事の誕生は東京桑野会のみすますの発展が期待されます。これから御苦勞様ですが、よろしく願いいたします。

日航の惨事から半年、500以上の遗体確認作業とはどんなものか想像にも絶しますが、歯のX線写真真々に至っては頭が下りっぱなしです。

同じく58期の本宮達也さんから東北新幹線の枕木が国鉄との共同開発ですと紹介された。又一つ鼻の高い自慢話が出来た。

活躍の場を郷里に求めた、荒井広幸君(90期)、一日も早く帰郷の目的を達成し、活躍されることを期待します。

ホルムズ海峡は石油と火薬の匂いのするところ。古川副幹事長の新大使の御活躍を祈ろう。

広告の掲載をお願いするのも大変になった。「又ですか」と云われそうな気が先に立ちます。今日まで気持ちよくお引き受け下さったり、スポンサーを御紹介下さった方々にこの場をかりてお礼申し上げます。次号もよろしく。

なお、本会報の編集の最中、中心になって、お骨折りいただいた桜井君が実兄をなくされたにもかかわらず、編集をまっとうされたことを感謝します。(長谷川)

お詫びと訂正：第6号掲載投稿者氏名樽澄夫氏を横井氏としましたので訂正いたします。